

○ 第1部 市政報告	
【市からの状況説明】	
<p>1. 新型感染症対策</p> <p>2. 全国屈指の森林観光都市に向けた取組み</p> <p>3. プレミアム電子商品券</p> <p>4. 前田夕暮生誕140周年に向けて</p> <p>5. 通学路整備・市道改良・公園遊具改修など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道9号線歩道設置工事 ・県道62号(平塚秦野)歩道整備事業 ・大根第9雨水枝線整備工事 ・NITTANパークおおねスケーティング場改修工事 ・カルチャーパーク陸上競技場改修工事 <p>※詳細は別途資料参照</p>	市長
○ 第2部 地域まちづくりについて	
1 通学路の歩道整備について	
【市からの状況説明】	
<p>(1) ガードレール設置基準に満たない狭い道路の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通学路の見守り活動について、まちづくり委員会の皆様には児童及び生徒の安全安心のために御尽力をいただき御礼申し上げます。 ・ 通学路について、毎年、各学校、保護者や地域の皆様の御協力により、安全点検を行い、危険箇所についての改善要望を教育委員会へ提出いただいている。その後、市(くらし安心部・建設部・教育部)、秦野警察署及び関係機関等が連携して、要望の中でも特に現地確認が必要な箇所について、合同点検を行い、実現可能な安全対策に取り組んでいる。 ・ 昨年6月に千葉県八街市の通学路の事故を受け、さらなる安全対策を強化するため、今年度は学識経験者や保護者、地域の代表者などを構成員とする通学路安全対策推進懇話会を設置した。通学路危険箇所の合同点検にあたり、改善要望の中には、横断歩道や標識、ガードレールの設置が多くある。 ・ 合同点検をし現地確認後、ガードレールを設置した場合、歩道が狭くなるため設置できないこともある。代替策として、グリーンベルトやポールを設置、また、運転手に対し、速度抑制の注意喚起を促す路面標示や警告看板の設置などその場所に合った対策を検討する。 	教育部長

【市からの状況説明】

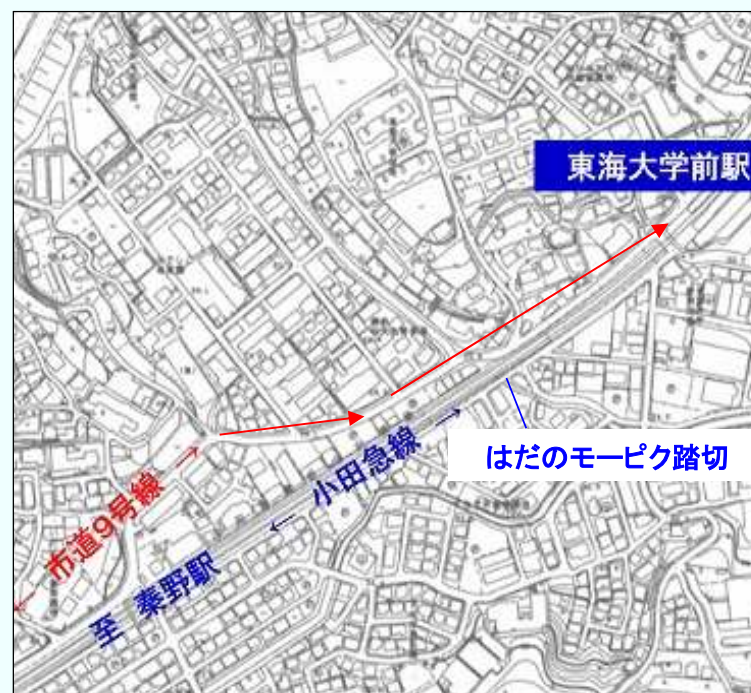
(2) 市道9号線（小田急線東海大学前駅北口線路沿い道路）の歩道の整備

- ・ 踏切（はだのモーピク踏切）を渡ったところが交通量も多く、バスも走り最も危ないため、この区間を優先して行う。歩道拡幅部分は、店舗や住宅、構造物があり、職員が1軒1軒訪問し、順次用地交渉及び補償を進めており、令和6年度の完成を目指す。
- ・ 今回の要望区間は、現在施工中区間の整備後に検討することとなるが、秦野マンション機械室の橋を渡り、県道秦野曾屋へ続く道路の拡幅要望も出ており、同時に整備することは難しいので、よく相談したい。
- ・ 市道9号線の要望区間は、スピードを抑制する看板設置の準備を進めている。

建設部長



歩道の整備が要望される市道9号線



(3) 小田急線東海大学前駅南口線路沿いの道路における交通規制等の安全対策

- ・ 秦野高校生が通学路として使用、スピードを出して走行する車両が多い。
- ・ 本日の懇談会前に開催された秦野高校運営協議会には、大根地区自治連会長とくらし安心部長が委員となっており、この会議の中でも、同様の意見があった。以前から指摘され、学校から生徒へ交通ルールのマナー等を指導していただきたい旨を話したが、時間がかかる問題と認識しており、解決はなかなか難しく、御理解をいただきたい。
- ・ 車両の通行規制等交通規制は、交通管理者である警察が所管する。
- ・ 通行規制は、地域住民を含め全ての方が規制の対象となることから、住民の合意が必要となるが、まずは、地域住民の皆様で、交通規制の協議をしていただき、合意形成が図られた上で自治会から要望書を提出する流れになる。



小田急線南側の道路

くらし安心
部長

(4) はだのモービック踏切前(ローソン LTF東海大学駅前本店付近)の横断歩道の廃止とガードレールの設置

- ・ 秦野警察署では、ローソン前の横断歩道とファミリーマート側の横断歩道を集約するイメージで、新交番前に横断歩道を移設することを検討し、決定すれば、自治会連合会長を通じて地域の皆様へお知らせする。
- ・ 横断歩道が移転・廃止になった場合、乱横断(横断歩道でない場所で道路を横断すること)の危険性があるため、ガードレールの設置について、建設部と調整する。



はだのモービック踏切前の
横断歩道

くらし安心
部長

【質問・要望・意見等】	※(1)～(4)まとめて	
(意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ある一定時間帯にかなりの人、相当の高校生が通行する。 ・ 高校生が邪魔だと言っても、通行する高校生が多いので、仕方ない。現在の交通ルールでは、車が譲らなければいけない。 ・ 一定の時間帯交通規制をするならば、市の説明のとおり、地域住民の同意が必要であるが、現在、自治会としては、そこまで動いていない。今後、具体的に、条件等警察と相談等していきたいと思う。 ・ はだのモーピック踏切は、北矢名6自治会からの要望もあるが、危険である。前の車両をよく見ずに踏切内に侵入すると、線路で立ち往生してしまうことも多々ある。こういうことは、大勢で声を出さなければいけないと思うので、皆さんの声(意見)を出してください。 	会長
(意見・要望)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 八街市の事故は、ハードの不備よりもソフト、運転手のマナーが原因だと思う。あのようなドライバーがいたら、どれだけ強力なガードレールがあってもひとたまりもない。大変難しいが、ハードの充実と運転手のマナーに期待するしかないと思う。 ・ 歩道の狭い箇所は広くできればいいが、小田急線に下がってほしいとは言えないし、反対側の民家がセットバックするのも難しい。 ・ 現実にはできる対策として、線が薄い箇所は、はっきりと分かるように塗装し直していただきたい。 ・ 秦野高校生が使用する通学路は狭く、ほかに広い道もあるだから広い道を通行すればいいのには思う。時間帯により通行規制することも、難しいと思われ、狭い道路であれば、運転者が慎重に走ることを期待するしかない。また、高校生も大きいので、自分の身は自分で守ることも必要で、横に並んでおしゃべりしたら危ないということ意識してもらいたい。 	南矢名下部 第三自治会
(意見・要望)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生が、線路側の道路を進行方向に向かって左側3列になって歩いているため通行できないことから、自宅から東海大 学前駅へ向かうときは、真ん中側か、線路側を歩いているのが現状であり、地域住民は大変迷惑している。 ・ はだのモーピック踏切前は、歩行者優先のため、車が横断歩道の手前で停止すると、線路内で立ち往生する車両もあり危険であるため、是非、改善いただきたい。 ・ 高校生は、下校時は、駅に向かって右側を歩き、朝だけ、進行方向に向かって左側を歩くので、改善していただければ、もう少し、安心して車も通行できる。 	東映団地自 治会

(意見・要望)

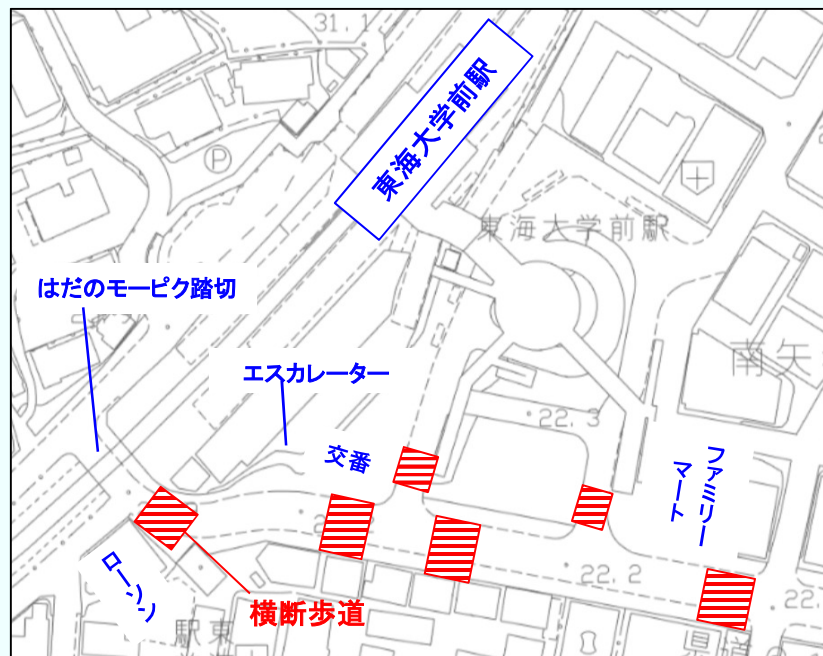
- ・ 自転車や歩行者の通行する場所がはっきりしていないのが問題である。
- ・ 線路沿いの道路は狭いので、もう一本南側の広い道路を利用するよう通学路の変更について、秦野高校と相談すれば解消できるのではないかと。
- ・ はだのモーピック踏切前も、もう少し人の流れをよく見れば解消できるのではないかと。踏切前の横断歩道の近くにエスカレーターがあるから渡りたくなるので、もう少し、踏切より離れた位置へ横断歩道を設置する、もしくは、今すぐは難しいが、エスカレーターの位置を変える等すればいいのではないかと。
- ・ 交通ルール上はよく分からないが、踏切を通過した車両が右左折スムーズに渡れるような仕組みが必要ではないかと。

南矢名下部
第二自治会

(回答)

- ・ 秦野高校生が通学する市道について、複数の方からの御意見を伺うと、いきなり交通規制をすることよりも、秦野高校生の通学路の設定やマナーの問題であると捉えている。
- ・ 本日、この懇談会前に秦野高校運営協議会があり、その中で、いずみストアがある南側の通りを利用していただくよう秦野高校生へ指導をしていただきたい旨をお願いした。年度内にもう一度この会議があるため、引き続き、秦野高校と話し合いをする。
- ・ ローソン前の踏切を移転する場合、ファミリーマート側にある横断歩道と距離感が近くなるが、基準上100メートルくらい離さなければいけない。横断歩道の設置場所については、エスカレーター先の空いた場所が協議の場所としてあるようだが、現在、警察が検討しているので、結果は、今しばらくお待ちいただきたい。

くらし安心
部長



2 避難所の整備について

【市からの状況説明】

- ・ 本市では、震度5弱以上の地震が発生した場合、市職員で構成する地区配備隊と学校の施設管理者が中心となり、市内23箇所の広域避難場所と一次避難所を開設する。
 - ・ 大根地区の一次避難場所は、大根小学校、大根中学校、広畑小学校である。
 - ・ 各避難所では、障害のある方や介護が必要な方、妊産婦や授乳室などの要配慮者指定スペースを、予め一般の避難者スペース(主に体育館)と別に設けているので、避難された際には避難者の状況に合わせて避難スペースを案内する。
 - ・ 一次避難場所では、拡声機やチェンソーなどの資機材と併せて、プライバシーを確保する段ボール製間仕切りや大人用おむつ、肌着、乳幼児用の紙おむつ、おしりふきなども備蓄しており、食料についても、アルファ化米以外に、おかゆやフリーズドライビスケット、粉ミルクや使い捨て哺乳瓶など、要配慮者に寄り添って備蓄している。
 - ・ 避難所運営については、災害の規模が大きいほど発災初期は、道路の損壊や交通網の麻痺等により、職員の参集が遅れることも予想されるので、地域住民と行政が一体となり運営体制を確立する必要がある。
 - ・ そのため、各自治会から任命されている避難所運営委員と平常時から継続的な訓練等を実施しており、来月17日(土)も市内各地区の避難所運営訓練を実施する。また、訓練時には、各学校に要配慮者の部屋を設定していることから、要配慮者の場所や備蓄品等の確認を計画している。
- 今後も、地域ごとの個別の訓練や講習会等を通じて、地域防災力の向上に努める。

くらし安心
部長



避難所レイアウト(参考例)



要配慮者用備蓄品

【質問・要望・意見等】

(要望)

・ 避難所の収容人数はどれくらいなのか。また、避難所への受け入れはどういう人を対象にしているのか。一時的に来た人なのか、体が弱い人なのか、一人で心細い人なのか、明確にしたほうがいい。

(回答)

・ 大根地区は、大根小学校、大根中学校、広畑小学校の災害時避難場所がある。市内の地震被害で想定される地震は複数あり、その中で、一番被害が大きいと推定されるのが、都心南部直下地震である。県が公表する避難者数は、市全体で、避難者5,090人、帰宅困難者6,570人である。

・ 避難所の定数は、大根小学校1,130人、大根中学校960人、広畑小学校1,100人であり、地域防災計画の中でも示している。

・ 発災時には、想定以上の避難者が予想されるが、大根公民館や児童館、幼稚園等の二次避難所を状況に合わせて開設する。

・ 要介護者は、避難所の区割りの中で、各学校のどの場所を使用するか決めていく。さらに、介護度が高い人は、福祉避難所を御案内する。

・ 随時見直すことは必要だと考えており、本日の意見は参考にさせていただきます。

「要配慮者指定スペース一覧」

	大根小	大根中	広畑小
要配慮者 (妊産婦)	PTAルーム	会議室	6年2組
授乳室	なかよし2	被服室	6年1組
要配慮者 (介護)	なかよし1	更衣室	1年1組
要配慮者 (障害)	まなびの教室	個別学習室	理科室

※要配慮者の用の部屋(教室等)は市内23箇所の広域避難場所全てに確保しています。

南矢名下部
第二自治会

くらし安心
部長

大根地区広域避難場所の防災備蓄倉庫



大根中学校



広畑小学校



大根小学校

3 不登校児や放課後の児童の居場所づくりについて

【市からの状況説明】

○不登校児童生徒への支援

- ・ 先日の新聞報道によると、全国の小中学校における30日以上欠席した昨年度の不登校の児童・生徒数は244,940人で、前年度よりも25%増の過去最多となった。
- ・ 本市の昨年度の不登校児は236人で49名の増加である。現在、文部科学省では、子どもたちが学校に登校することのみを創出するのではなく、社会的に自立するための新たな場の創出が重要とされている。
- ・ 不登校児童生徒への支援について、児童生徒が安心できる居場所づくりとして、小集団活動での支援をする教育支援教室「いずみ」がある。専任教諭や支援員等を配置し、子どもの気持ちに配慮した支援を行っている。
- ・ 家庭から外に出ることができない児童生徒の支援として、平成30年に訪問型個別支援教室「つばさ」を開設し、昨年度は支援員のほか専門相談員を配置し、個別の支援を行ってきました。支援員は一人一人の特性に応じ各家庭を訪問し、児童生徒はもとより、保護者にも丁寧に寄り添いながら支援に努めている。
- ・ 学習のつまずきから不登校になる子もいる。
- ・ 自宅学習の方策として、現在一人一人にタブレットが配布されていることから、新たな学びの場として、不登校の児童生徒に対し、今年度よりデジタル教材を活用した支援も開始し、現在の利用者数は、17名である。
- ・ デジタル教材をきっかけに、利用する児童生徒とメールや電話等でコミュニケーションを図るとともに、家庭訪問などを行い、「いずみ」や「つばさ」の学習支援へつなげたい。
- ・ さらに教育委員会では、すべての子どもたちの放課後の居場所づくりが重要であると考え、大根地区の広畑ふれあいプラザで実施する「ひろはた自習・相談室」を参考に、公共施設等での寺子屋方式の放課後学習支援に取り組み、来年度は、市内の全中学校区に設置が完了する。
- ・ 子どもたちの居場所づくりは、学校、家庭地域との連携が大切であり、地域の声を大切に取る。

教育部長

○放課後の児童の居場所づくり

- ・ 放課後の児童の居場所づくりは、学童保育や児童館、寺子屋を実施しているが、それぞれの所管課が異なるため、集約したり、連携を図ったり、一体的な実施に向けて検討している。
- ・ 地域性もあり、地域の方が積極的に携わってくれる地域や塾通いや共働き家庭が多い地域等があるため、まずは地域の状況を把握したいと考える。また、地域の中で子どもの居場所は、地域の御協力をいただきながら運営していきたいと考える。地域が無理なく持続して活動できることが大事であると考え、持続可能な体制づくりを目標に検討する。
- ・ 具体的には、既存の組織である「子どもを育む中学校区懇談会」等を活用し、地域の実情に合わせた取組を進めたいと考える。

こども健康
部長

【質問・要望・意見等】	
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> 不登校児の問題は難しいと思うが、一人一人の真の原因を見つけて、その子にあった支援をお願いしたい。市教育委員会から児童一人一人にタブレットが配布され、学校へ行かなくても学べる環境があるので、学校に行かずとも、その子にあった支援をお願いしたい。 	南矢名下部 第二自治会
<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市が様々な施策を行う中で、民間委託という問題があるが、テーマの問題は教育の根源である。まず、市の体制の中に、制度を作っていただきたい。安易に民間委託することのないようお願いする。民間委託は、業者が儲けるということであるが利益を出すようなものではない。エッセンシャルワーカー等様々あるが、民間委託していいもの、そうでないものとの明確にし、教育に関することは、是非、このような視点で取り組んでいただきたい。 	自治連合会 長
○ 第3部 市政全般について	
<p>(質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の総合計画や市長の言葉の中にも、様々な場面で「人口減少」という言葉を聞く。市全体も同様であるが、北矢名地区における人口減少の対策、方策についての考えを教えてください。 	北矢名第一 自治会
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少は悩ましいが、市に限らず、全国的に人口減少をしており、やむを得ない。全体が減っているので、避けて通れないが、いかに減少のカーブをなだらかにするかが大事である。人口減少が急激に落ち込むことで、都市の機能にひずみがでることのないよう、目標は高く人口が増加できるように取り組む。冒頭で説明したとおり、都市の魅力をつくるために、表丹沢の魅力づくりと小田急線4駅にぎわい創造というものを説明したが、ふるさと秦野に、市民が秦野に誇りと愛着を持っていただくことにより、市外から、丹沢名水、桜の里とで、住みやすいと思っただき来てもらえるような移住・定住促進が図れるよう、総合的に取り組むことで、できるだけ、人口減少の幅を緩やかにしようと取り組んでいる。総合計画でも、「人口減少」を捉え、真正面からまちづくりに取り組んでいきたい。 	市長

<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若い夫婦が移住したい、住みたいと思ってもらうことが、まずは有効な対策である。 ・ 海老名市や流山市のように育児に対するサポートが有効である。例えば、流山市は、駅前に子どもを集め、保育園や幼稚園に子どもを配り、母親が仕事しやすい支援を行っている。 ・ 大根地区は、大学から幼稚園、身体障害者、高齢者の場所、施設がある。全国にも珍しいのではないか。大学があるため、起業しやすい環境づくりをしたらどうか。東海大学もあり、優秀な人もいるので、場所づくりもいいのではないか。その一方で、県営住宅には、空き家問題があるため、施設を結びつけて有効活用する。起業として参画する人もいると思う。実際に、東京大学の周辺は起業する環境が整っているため、真似たらどうか。 	<p>北矢名第一 自治会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然増減と社会増減がある。自然増減は出生・死亡であるが、秦野市は社会増が続いている。つまり、転出者よりも転入者が多い。 ・ 自然増減では、出生と死亡を比較すると死亡が多い。この自然増減と社会増減を合わせ、全体で微減となっている。 ・ 秦野市の魅力を感じて、子育て支援も切れ目のない支援に取り組み、充実しているとの評価もいただいている。大学は大きな力であり、その特色を活かし、まちづくりをしていきたい。 	<p>市長</p>
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会長になり、市へ様々なことをお願いしているが、職員の中には、その進捗状況を教えてくれる人とそうでない人がいる。自治会からの要望をリスト化し、見える化し、解決しているものと解決していないものと分かるようにしたほうがお互いにとっていい。 	<p>南矢名下部 第二自治会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建設部は、公園や道路、橋、河川を管理し、自治会長からも一番要望が寄せられる部署だと思う。 ・ 自治会長へ報告等が戻せていない部分があることから、改めて、関係部署へ伝え、しっかり対応させていただきたい。 ・ 市民等の皆様から寄せられる要望等は、年間、例年、2,000件であり、今年度は、この数値をはるかに上回る。 ・ 部内各課へ御意見を報告する。 	<p>建設部長</p>
<p>(要望・意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リスト化したものが見えない、自治会から出た要望を公表していただきたい。そうすれば、我々も分かるし、自治会内で要望された方へ説明しやすい。 	<p>南矢名下部 第二自治会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会を所管する部局等と調整をする。 	<p>建設部長</p>